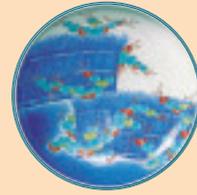


東京国立博物館 ニュース

2014 **8-9**

展示と催し物案内
第726号

- 2 ◆ 2014年日中韓国立博物館合同企画特別展「東アジアの華 陶磁名品展」
- 3 ◆ 総合文化展「博物館でアジアの旅」 4 ◆ 特別展「台北 國立故宮博物院—神品至宝—」
- 5 ◆ 「日本国宝展」 特別展「みちのくの仏像」
- 6-11 ◆ 総合文化展 / 11 ◆ 保存と修理情報 24 / 12-13 ◆ みどりのライオン 教育普及事業
- 14 ◆ INFORMATION / 15 ◆ TOPICS / 16 ◆ 8月・9月の展示・催し物



唐三彩・高麗青磁・ミイラ・京劇・ヨガ…
「アジアフェス in トーハク」開催決定！

アジアの
旅へ出発！



東洋美術！ フェス in トーハク！

「ジアフェス in トーハク」と題して、東洋美術を楽しむ特別企画を開催します。
 ろいする特別展、トーハクが誇る東洋美術コレクションのなかから優品を展示する総合文化展、
 上げるイベントの数々。この機会に、日本に身近なアジアの作品をじっくりとお楽しみください。

アジアだほ！
全員集合！



ユリノキちゃん
東京国立博物館
キャラクター

トーハクくん

2014年日中韓国立博物館合同企画特別展 東アジアの華 陶磁名品展

本館特別5室

9月20日(土) — 11月24日(月・休)

初の合同企画展！

東アジア3カ国が誇る
陶磁器がトーハクに集結

本展覧会は、日本・中国・韓国の3カ国の国立博物館が合同で実施する初めての国際合同企画展です。東アジアを代表する工芸である陶磁器が、一堂に会します。展示作品は、中国の国家博物館、韓

国の国立中央博物館の所蔵品、日本からは東京国立博物館の所蔵・寄託品、文化庁の所蔵品と、各国15件ずつ、あわせて45件が出品されます。それぞれの国のラインナップは、各館の陶磁器コレクションの特徴をふまえて厳選しました。日本は、縄文土器から江戸の色絵陶磁器までの名品が揃います。中国は、前漢時代の土器や、唐三彩を中心とする唐時代の出土品など、そして韓国は、三国時代の土器に始まり朝

鮮王朝時代の磁器まで、特に、国立中央博物館が誇る高麗青磁のコレクションを中心に展示をします。陶磁器は、それぞれの国で育まれてきた一方で、3カ国の文化的なつながりも感じさせます。各国で、そして東アジア全体で愛されてきたやきものの数々。この秋、やきものを通じて、各国の文化と東アジア全体の文化の絆をご覧ください。(横山梓)



POINT 2

肩を流れる釉が
おおらか！

日本

◎秋草文壺

渥美 平安時代・12世紀
神奈川県川崎市幸区南加瀬出土
東京・慶應義塾蔵
渥美窯を代表する名品。
線彫りで描かれた秋草や
とんぼなどが、いきいきと
しています

POINT 1

器面いっぱいの
伸びやかな線描
に日本の風流を
感じます。



POINT

亀の歯、鱗、額の
角、足の爪など細
やかに作られて
います。捻られた
把手には、黒点
の象嵌も！

韓国

◎国宝 青磁亀形水注

韓国 高麗時代・12世紀 黄海北道開城附近出土
韓国国立中央博物館蔵
高麗青磁全盛期の優品。蓮台に座した亀の姿をした水注で、顔と首は龍の頭で表わされています



中国

◎緑釉女子俑

中国 唐時代・開元11年(723)葬
陝西省西安・鮮于庭詢墓出土
中国国家博物館蔵

両手を前で組んで立つ女性の俑。白い胎土で成形され
顔と一部を除いて、緑釉がかけられています

POINT

長い上衣+ズボンという男装。騎馬民族の
衣装を身につけることが、当時、上流階級
の女性の間で流行していました。

関連イベント

記念講演会

日中韓各国より1名ずつ講師が登場し、それぞれの国のやきものの歴史や各館コレクションの魅力などを、展示会の出品作品を中心にお話します。(逐次通訳付)
 日時:9月27日(土)13:30～15:30
 会場:東京国立博物館 平成館大講堂
 講師:伊藤嘉章(当館学芸企画部長)・杜衛民(中国国家博物館保管一部副研究員)・具一會(韓国国立扶余博物館長、前韓国国立中央博物館美術部長)
 定員:380名(当日受付、先着順)
 聴講無料(ただし、当日の入館料が必要です)

東アジアの華 陶磁名品展

主催:東京国立博物館、中国国家博物館、韓国国立中央博物館
 観覧料金:総合文化展料金でご覧いただけます
 ※障がい者とその介護者1名は無料
 お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600

建物から近づく嵐を見る女
インド、キジャンガル派 18世紀後半
東洋館13室にて、9月30日(火)～
11月3日(月・祝)展示
吊り上がった眉に大きな目。独特の
雰囲気を感じています。細密な表現
にご注目



インドの美人に釘づけ



イケメンに高鳴る鼓動!

どっぶり、アジア

今秋、東京国立博物館では「ア
日中韓の陶磁器の名品が勢ぞ
そしてアジアフェスをさらに盛り

東洋館のアイドル



緑釉犬

中国 後漢時代・2～3世紀 武吉道一氏寄贈
東洋館5室にて、8月19日(火)～12月7日(日)展示
墓を守る番犬ともいわれています。緑釉の表面が風化し
て銀色に輝く風合いも見どころ

如来坐像

パキスタン・ガンダーラ クシャーン朝・2～3世紀
東洋館3室にて通年展示
思索にふけるような知的な顔立ちは、まるでギリシア彫刻のよう

ド迫力! これぞ名品代表!



五龍図巻(部分)

伝陳容筆 中国 南宋時代・13世紀
東洋館8室にて、9月30日(火)～11月3日(月・祝)展示
黒雲のなかから龍がからみつきながら姿を現し、また雲
気のなかに隠れていく様子を描きます

トーハクから、
アジアの風が吹きわたる!
トーハクが、世界に誇る東洋美術コ
レクションを所蔵していることをご
存じですか? 東洋館では「東洋美術
をめぐる旅」をコンセプトに、中国、
朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、
エジプトなど、さまざまな美術や考古
遺物を展示しています。
「でも、なかなか東洋館を見る機会が
ない。」そんなあなたのために、トー
ハクはアジアを盛り上げるべく立ち
上がりました! 期間中は名品中の名
品を展示するほか、イベントも盛り
だくさんです。ぜひこの機会に、東洋
館でアジアの旅をお楽しみください。

東洋館

総合文化展

博物館で アジアの旅

9月30日(火)～
10月13日(月・祝)

関連イベント

*特に記したものを除くはすべて参加費無料。ただし、当日の入館料は必要です *観覧料金:総合文化展料金でご覧いただけます

講演会

月例講演会「中国青銅器をめぐる旅 4千年のものがたり」
10月11日(土)13:30～15:00
講師:川村佳男(平常展調整室主任研究員)
定員:380名(当日受付、先着順)
会場:平成館大講堂

展示解説・ガイド

スペシャルツアー
「60分でめぐるアジア美術の旅 研究員がエスコート!」
トーハクの名品をめぐるアジアの旅。とっておきの展示室と作
品を、研究員がご案内。

10月1日(水) 11:00～12:00	「絵画をめぐる旅」 塚本慶充(東洋館研究員)
10月2日(木) 11:00～12:00	「楽の音が聞こえる シルクロードの 美術」 勝木言一郎(出版企画室長)
10月4日(土) 18:30～19:30	「仏さまの物語」 三田覚之(工芸室研究員)
10月5日(日) 18:30～19:30	「仏像はなぜ作られた?」 小泉恵英(東洋室長)
10月8日(水) 11:00～12:00	「考古で比べる日本と中国」 川村佳男(平常展調整室主任研究員)
10月9日(木) 11:00～12:00	「縄文土器の個性をさぐる旅」 小野塚拓造(特別展室アシエイトフェロー)
10月10日(金) 11:00～12:00	「アジアの染織文様を旅する」 小山弓弦葉(教育普及室長)
10月12日(日) 14:00～15:00	「馬でめぐるアジア」 白井克也(考古室長)
10月13日(月・祝) 14:00～15:00	「アジア、青磁の旅」 三笠景子(保存修復室研究員)

*当日自由参加。東洋館1階エントランスホール集合
*展示室を巡るツアーです。歩きやすい靴でご参加ください

イベントトーク

「井浦新と楽しむアジアの仏像の旅」
大の美術好きとして知られ、2013年1月の東洋館リニューアルオープンの際にはキャンペーンポスターにもご登場いただ
いた俳優の井浦新さんをお迎えしてのイベントトーク。東洋
館のアジアの仏像の見どころを、当館研究員のナビゲート
で井浦新さんとともに楽しみください。

10月3日(金)
19:30～20:15 イベントトーク 井浦新×小泉恵英(東洋
室長)
20:15～21:30 東洋館観覧
定員:100名
会場:東洋館地下1階 TNM&TOPPANミュージアムシアター
料金:1,000円 チケットはイープラス(<http://eplus.jp/>)で7
月20日(日)より販売(限定枚数に達し次第、販売終了)

博物館でYOGA体験

東洋館1階の仏像が並ぶ特別な空間で、贅沢な時間を体験
してみませんか? 新しい1日のスタートのための朝YOGA
と、静かに1日を終えるための夜YOGAをご用意しました。

「朝YOGA 仏像と始める一日」

10月4日(土)、5日(日) 8:30～9:30(受付:8:00～)

「夜YOGA 仏像と過ごす夕べ」

10月4日(水)、9日(木) 19:30～20:30(受付:19:00～)

定員:20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

会場:東洋館1階

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォーム

申込締切:9月5日(金)必着

*抽選の結果は9月19日(金)までにメールでお知らせします

*朝YOGAは終了後展示をご覧いただけます

*夜YOGAは後日お使いいただける総合文化展の無料観
覧券をお渡しします

アジアン スペクタクル

韓国伝統芸能

サムルノリ(太鼓演奏)

10月4日(土)14:00、16:00 (各30分)

出演:李昌燮(リ・チャンソプ)ほか

会場:東洋館前(雨天の場合は平成館大講堂)

中国伝統芸能

中国太陽芸術団による京剧・雑技・音楽のショー。

10月5日(日) 14:00、16:00 (各30分)

出演:中国太陽芸術団

会場:東洋館前(雨天の場合は平成館大講堂)

アジアを体感! ワークショップ

着てみてポーズ! 中国・韓国の伝統衣装

中国、韓国の伝統衣装を着ることができます。もちろん、写
真撮影もOK。それぞれの国の美意識や生活文化の違いを
感じてください。

期間中毎日 11:00～16:00

会場:東洋館1階 エントランスホール

*当日、随時自由参加。子ども用、大人用ともにご用意して
います

アジアンぬりえ

東洋館の展示作品からモチーフをとったぬりえをお楽しみく
ださい。できあがった作品はお持ち帰りいただけます。

10月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日) 11:00～16:00

会場:東洋館1階 エントランスホール

*当日、随時自由参加。子ども向け、大人向けともにご用意し
ています

親子でぶつぞう探検 in ナイト・ミュージアム

小学生とその家族を対象にしたワークショップです。「夜の博
物館」でクイズに答えたり、アジアの仏像を観察してスケッチ
したり、わくわく楽しい探検をしてみませんか。

10月12日(日)18:00～19:30(受付17:30～)

対象:小学生とそのご家族

定員:20組(応募者多数の場合は抽選)

会場:東洋館1室、3室、TNM&TOPPANミュージアムシアター

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォーム

申込締切:9月12日(金)必着

*抽選の結果は9月22日(月)までにメールでお知らせします

ボランティアによる関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてもの、作品に見られる樹木な
ど、今回のみの特別バージョンです。詳細は次号カレンダーを
ご覧ください。

台北 國立故宮博物院

神品
至宝

平成館
特別展示室

6月24日(火)―
9月15日(月・祝)

古今東西の宝物を集めた 皇帝コレクションの縮図

紫檀多宝格

清時代・乾隆年間(1736-1795)

乾隆帝はコレクションの中から小品やミニチュアを精選して、小箱の中に収めました。皇帝の玩具箱と称される多宝格は、叡智の結晶ともいべき仕込み箱で、多種多様の宝物が整然と収納され、伝統文化を再編しようとする乾隆帝の熱い思いが込められています。一般人の所有は禁じられ、皇帝だけが所有できました。



側面を飾る書画も
宋・元の大家にな
らったもの

引き戸を収めると
四角い箱になり
ます。下部の台
座にも、ミニチュ
アを収納

古代中国の玉から
異国のルビーの指
輪まで、悠久の時
間と広大な空間がひ
とつの箱に凝縮!

※このページに掲載の作品は全て國立故宮博物院蔵

(部分)



乾隆帝を魅了した傑作中の傑作

行書黃州寒食詩卷

蘇軾筆 北宋時代・11～12世紀

[展示期間: 8月5日(火)～9月15日(月・祝)]

黃州(湖北省)に流されて3年目、47歳の蘇軾が我が身を詠じた詩を揮毫した作。この時期、蘇軾の詩文書画は新たな境地に達し、この作も蘇軾の全てを伝えるかのような、余韻にあふれています。後ろに弟子の黃庭堅が「蘇軾がもう一度書いても、もう書けないだろう」と書いた跋文も見事。1巻で何度も楽しめる魅惑の逸品です。



1巻で2度おいしい(!?)
黃庭堅の書いた跋文も見どころ

乾隆帝自身が書いた跋文も。よく見ると臣下に
削らせて書き直した跡が!?

捺された印文は、乾隆帝
お気に入りの証

特別展

台北 國立故宮博物院—神品至宝—

特別後援:日華議員懇談会

主催:東京国立博物館、國立故宮博物院、NHK、NHK プロモーション、読売新聞社、産経新聞社、フジテレビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、東京新聞
特別協力:TBS、テレビ朝日、日本テレビ放送網、共同通信社
協力:チャイナ エアライン(中華航空)

観覧料金:一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生700円(500円)

* ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

乾隆帝ゆかりのコレクション、この作品も見逃すな!



藍地描金粉彩游魚文回轉瓶

清時代・乾隆年間(1736-1795)

上部を回すと、下の窓から金魚が泳いで見える遊び心いっぱいの回轉瓶



新嘉量

新時代・始建国元年(9)

新時代に定められた度量衡の基準器。乾隆帝はこれを模倣させ、正統な権力の象徴として宮殿の前に置いた



「八徵耄念之宝」玉璽

清時代・乾隆55年(1790)

乾隆帝が長寿を祝って作らせた堂々たる璽印



松花石蟠螭硯

清時代・乾隆年間(1736-1795)

満州族の祥祥の地に産する硯材を用いた乾隆帝の豪華絢爛な硯



いよいよ会期後半!
注目の見どころ、キーワードは「乾隆帝」!

清時代は、康熙帝・雍正帝・乾隆帝の3代にわたり最盛期を迎えました。
なかでも乾隆帝は10度の戦争に勝利して清朝の版図を最大に

拡張、みずから十全老人と名のりました。
芸術文化にも造詣が深く、中国の歴史文化をも再編しようとする壮大な構想のもと、積極的

に文化財を収集・整理し、清朝ならではの新しいモードを導きました。
今回は、故宮コレクションの大部分を集めたとされる乾隆帝ゆかりの作品を、紹介します。(富田淳)

日本国宝展

平成館特別展示室

10月15日(水) — 12月7日(日)

時空を超えて「国宝」が
私たちの前に！

私たちはいつの時代にも、信じるものに思いを託し、祈りをささげ、心のよりどころとしてきました。国宝の中には、神や仏への信仰を背景として生みだされた芸術的造形や歴史的資料が数多くあります。

人々の祈り信じる力が、どのような形を結び、そして今にあるのか。国宝と私たちがとの、時空を超えた対話が始まります。ここでは、象徴的な作品のいくつかをご紹介します。

(伊藤信二)



●支倉常長像 (慶長遣欧使節関係資料のうち)

17世紀 仙台市博物館蔵
画像提供:文化庁

伊達政宗が慶長18年(1613)にスペイン、ローマに派遣した使節団の一員、支倉常長(1571~1622)。このとき常長が持ち帰った品々が国宝・慶長遣欧使節関係資料で、平成25年度には世界記憶遺産に登録されました。本展覧会では、油絵の技法で描かれた支倉常長像などが展示されます。ロザリオを手に、十字架に手を合わせるキリスト教信者としての姿が描かれています。

●善財童子立像

鎌倉時代・建仁3年(1203)

~承久2年(1220)

奈良・安倍文殊院蔵

安倍文殊院には、獅子に乗り海を渡る文殊菩薩と4人の侍者の像が伝来しており、このうちから善財童子、仏陀波利三蔵の2尊が出品されます。

手を合わせ、後方の文殊菩薩を振り返りつつ、渡海を先導する善財童子の、慈しみにあふれた表情と仕草にご注目ください。



●土偶(合掌土偶)

縄文時代(後期)・前2000~前1000年
青森県八戸市風張1遺跡出土

八戸市埋蔵財文化センターは川縄文館蔵
両膝を立てて座り、胸の前でしっかりと手を組んで見上げる眼差しの先には何があったのでしょうか。土偶に残る当時の補修の痕は、人びとが土偶を大切にしていたという思いさえも今に伝えています。11月21日(金)~12月7日(日)には、この像を含めた国宝の土偶が展示室に勢ぞろいします。

関連イベント

記念講演会 事前申込制

①11月1日(土)13:30~15:00

「国宝指定制度と日本国宝展」

伊藤信二(当館広報室長)

②11月22日(土)13:30~15:00

「国宝縄文のビーナスと国宝仮面の女神誕生の地・ハテ岳山麓北山浦の縄文文化」

鶴飼幸雄(尖石縄文考古館前館長)

会場:東京国立博物館 平成館大講堂

定員:各回380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)

*1枚のがきで、1つの講演会につき最大2名の申込み可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会の日時(①・②)、「返信用裏面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申込みください。

申込先:〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3F ユース・プランニングセンター内「日本国宝展」講演会(希望する講演会番号①・②のいずれか)係

申込締切:①9月16日(火) ②10月6日(月) 消印有効

日本国宝展

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

協賛:損保ジャパン・日本興亜損保、大仲社、みずほ銀行

観覧料金:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料

*前売券は7月9日(水)から10月14日(火)まで、東京国立博物館 正門チケット売場

(窓口、開館日のみ)、展覧会公式ホームページ、ローソンチケット[Lコード=32200]

チケットびあ[Pコード=766-176]、セブンチケット[セブンコード=030-612]、イープラス、JTB

各支店・JTB総合提携店にて販売

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会公式ホームページ:

<http://kokuhou2014.jp>

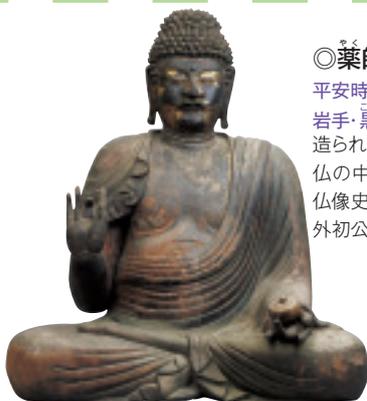
●薬師如来坐像

平安時代・貞観4年(862)

岩手・黒石寺蔵

造られた時代を記す木彫

仏の中では最古の像で、仏像史上の重要作品。寺外初公開



●薬師如来坐像

平安時代・9世紀 福島・勝常寺蔵

一木で造られた像高141.8cmの堂々とした像。東北地方が誇る国宝です

特別展

みちのくの仏像

本館特別5室

2015年1月14日(水) — 4月5日(日)

東北の三大薬師が
一堂に集結！

日本の各地には優れた仏像がありますが、東北地方にはとりわけ多くの魅力的な作品が伝わっています。本展覧会には、その中から東北各県を代表する仏像が出品されます。特に注目していただきたいのは、東北の三大薬師と称される、黒石寺(岩手県)、勝常寺(福島県)、双林寺(宮城県)の薬師如来像です。3体が揃うのは初めてです。いずれも堂々とした一木造で、厳しい表情のなかに人々を見守るやさしさが感じられます。三大薬師の他にも、みちのくのくらしの香りがする像、京の仏像に劣らぬ美しい像、江戸時代の円空仏などが出品されます。

(丸山士郎)

特別展「みちのくの仏像」

主催:東京国立博物館、NHK、

NHKプロモーション、読売新聞社

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会公式ホームページ:

<http://michinoku2015.jp/>

注目の特集



注目

博物館で歩く聖地・春日野

特集

「春日権現験記絵模本Ⅰ — 美しき春日野の風景 —」

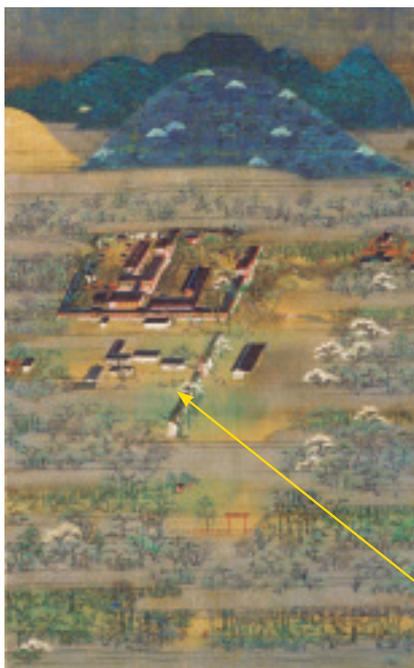
7月23日(水)～8月31日(日)

● 本館 特別2室

奈良県奈良市に鎮座する春日大社は、創建以来多くの人びとの信仰を集めてきました。この春日大社に祀られる神々の利益と靈験を描き、鎌倉絵巻の最高傑作に数えられるのが春日権現験記絵です。当館には、江戸時代後期に制作されたこの絵巻の模本が所蔵されています。

この模本は、紀州(和歌山)藩主徳川治宝が有職故実研究などのために作らせたものです。描いたのは浮田一蕙、冷泉為恭、岩瀬広隆ら、いずれも幕末の名だたる復古やまと絵師たちです。

今回の特集は、春日権現験記絵模本の魅力とともに、春日信仰の諸相を様々な角度から紹介する試みの第1回目です。春日権現記絵模本とともに、春日宮曼荼羅などから、美しき聖地・春日野の景観をご紹介します。(土屋貴裕)



細部をよく見ると、春日野に遊ぶ鹿の姿も確認できます。

春日宮曼荼羅 鎌倉時代・13世紀

展示期間:7月23日(水)～8月11日(月)
春日野を一望におさめる礼拝画。春日野は景観そのものが神聖なものとされ、人びとはこの画像を前に、春日の神々に祈りを捧げていました

牛車に乗っているのは地蔵菩薩。その実、春日社三宮の姿です。



春日権現験記絵模本 巻第二十

江戸時代・19世紀
春日大社を象徴する朱塗りの鳥居。この鳥居の先には、春日大社の境内と春日野の景観が広がっています

春日権現験記絵模本 巻第十二

江戸時代・19世紀
展示期間:8月12日(火)～8月31日(日)
奈良といえば、鹿。鹿は春日の神々の使いとされます。この場面、多くの鹿が牛車を取り囲んでいます。いったい何が起きているのでしょうか?

*一部の作品は会期中に展示替を行います。

注目

仏像の「？」がよくわかる!

「親と子のギャラリィ 仏像のみかた 鎌倉時代編」

8月31日(日)

● 本館 11室・本館 14室

「なんだらう?」を「なるほど!」にする、毎夏恒例の「親と子のギャラリィ」。今年は、まるで生きていようようにリアルな表現が特徴の、鎌倉時代の仏像がテーマです。

「仏像は難しくてわからない」と食わず嫌いはもったいない! 今にも動き出しそうな体つきやポーズ、表情、雰囲気をも自分の目で見て感じ、リアルな表現の工夫を探してみましよう。仏像を造ったひとのことや、何をしている場面なのかなども想像してみてください。展示室に鑑賞のヒントを用意しました。きつと皆さんも仏像の魅力を見つけ、楽しめるはずですよ。(川岸瀬里)

阿弥陀如来坐像
鎌倉時代・13世紀
鎌倉時代に流行した阿弥陀如来像。特徴はな～んだ?



愛染明王坐像

鎌倉時代・13～14世紀
こわい顔をして武器を持っているのはなぜ?

本館 日本に出会う

本館 2 室 国宝室

乾隆帝ゆかりの中国絵画

国宝 瀟湘臥遊図巻

8月5日(火)～9月15日(月・祝)

かつて乾隆帝の四名巻(Ⅱベスト4)のひとつでもあった中国絵画の名品が、国宝室に登場するのは深い理由があります。現在、特別展「台北 國立故宮博物院—神品至宝—」(本誌4ページ参照)に特別に出陳されている蘇軾筆「行書黃州寒食詩巻」と「瀟湘臥遊図巻」の2巻は戦前まで、ともに当館のすぐそばに住んでいたコレクター・菊池惺堂に秘蔵されてきました。内藤湖南の題跋には、関東大震災で被災した菊池惺堂が、このふたつの作品を煙火の中から救い出したことも記録されています。時代を経て「行書黃州寒食詩巻」は再び海を渡り、台北の國立故宮博物院の収蔵品となりました。今回、東博で、約50年ぶりの再会となります。(塚本麿充)



●瀟湘臥遊図巻

李氏筆
中国 南宋時代・12世紀
淡墨で描かれた山水は、誰の心にもある理想郷の表現です

本館 10 室 浮世絵と衣装

歌麿ファン待望! お江戸の美人が勢ぞろい

重美 青樓仁和嘉女藝者部 大万度 荻江おいよ竹次

9月2日(火)～9月28日(日)



○青樓仁和嘉女藝者部・大万度 荻江おいよ 竹次
喜多川歌麿筆
江戸時代・天明3年(1783)
細かな筆で描かれた祭り支度の芸者たち

9月の本館10室の浮世絵の展示は、もともと著名な浮世絵師の一人喜多川歌麿(1735?～1806)の小特集です。歌麿は、初期には版本挿絵など木版画の精緻な技法を背景とした堅実な作品を描きましたが、しだいに女性美を追求した独自のスタイルを確立し、色香たじょう女性たちの姿を多くの浮世絵版画に残しました。今回は、画風形成期とされる天明期(1781～1789)の作品から、絶頂期とされる寛政期(1789～1801)までの版画作品を中心に、肉筆画を加えて歌麿の描いた女性美の世界をご覧いただくものです。(田沢裕賀)

本館 13 室 金工

日常のコスメアイテムにも 意匠を凝らします

柄鏡

8月17日(日)

金工のコーナーでは柄鏡を展示します。現在私たちが使っている鏡は、ガラスの背面に銀色の膜を塗布したガラス鏡ですが、江戸時代以前は、鏡といえば銅製のほとんどでした。古代より銅鏡は多くが丸型でしたが、室町時代の終わりころに柄を付けた柄鏡が登場し、江戸時代を通じて市井の生活用具として定着しました。

背面に文様を表すのは銅鏡に通例のことですが、江戸時代以降は人々の生活と趣向の多様化にもない、花鳥山水や人物故事など、内容がバラエティに富むものとなり、径も大きくなっていきました。(伊藤信二)



梅竹柄鏡

銘「天下—津田薩摩守」
江戸時代・18～19世紀
江戸時代後期には柄が短く鏡掛に掛けて使っていました

梅唐草鶴亀柄鏡

室町時代・16世紀
初期の柄鏡は、鏡の径に対して柄が長いのが特徴です

本館 16 室 アイヌと琉球

鮮やかで美しい、琉球工芸の世界

樹下人物螺鈿沈金食籠

8月17日(日)



(部分)

樹下人物螺鈿沈金食籠

沖縄本島
第二尚氏時代・18世紀
緻密で洗練された琉球漆器です

1年に1度、16室での琉球の工芸品の展示です(9月28日(日)まで)。近世の琉球では漆器が、中国や日本の献上品として、また王家や土族の暮らしの道具として作り使われていました。食籠とは、重箱と同じように食べ物を入れて宴席などで用いる器です。本例は全体を八角形とし、猫足に畳摺りをもつ二段重ねの身に、甲を盛り上げた蓋がついています。蓋や身に描かれているのは、木陰で本を読む人物や柳の下で釣りを楽しむ人物。螺鈿技法で描かれています。これらの人物は、世俗を逃れて自由気ままに暮らす中国の文人の理想像を表したものと考えられています。(品川欣也)



8/31 日
 かしどりいとかたあかおしのどうまる
 ◎**櫻鳥糸肩赤威 胴丸**
 室町時代・15世紀
 秋田一季氏寄贈
 胴に兜・袖を完備した中世を代表する胴丸で、種々の技巧の粋を尽くしています

4 茶の美術

8/5 火 10/26 日

初秋の茶事を想定しながら道具をとりあわせて紹介します。



くろくよほうちやわん めいしじうん
 ◎**黒楽四方茶碗 銘 祥雲**
 一入作 江戸時代・17世紀
 広田松繁氏寄贈
 四方という珍しい形。厚くかかる黒釉からわずかに朱釉がのぞきます

おりべすはまがたてばち
 ◎**織部洲浜形手鉢**
 美濃
 江戸時代・17世紀
 養進氏寄贈



伝統的な洲浜形の器に2種の土からなる織部の造形美が展開されます

3 -3

禅と水墨画 — 鎌倉～室町

7/23 水 8/31 日

ほていず
 ◎**布袋図**(部分)
 狩野正信筆 景徐周麟賛
 室町時代・15世紀 個人蔵
 現存する真蹟が少ない狩野派の初代、正信の人物画における代表作です



9/2 火 10/13 月祝
 がまてつかいず
 ◎**蝦蟇鉄拐図**(部分)
 雪村周継筆 室町時代・16世紀
 関東や福島県で活躍した画家、雪村が大画面に躍動する仙人を描いています

3 -2

宮廷の美術 — 平安～室町

9/2 火 10/13 月祝

きみみずでららん ぎょう
 ◎**清水寺縁起絵巻 巻中**(部分) 土佐光信筆
 室町時代・永正14年(1517)



「清水の舞台」でも有名な、京都東山の清水寺創建の物語です

7/23 水 8/31 日

てんくぞうし
 ◎**天狗草紙(延暦寺巻)**(部分)
 鎌倉時代・13世紀

驕慢心を持つ僧侶がなるとされる天狗。その様子を寺院の景観とともに描きます

2 国宝室

8/3 日

のうりゆうずりやぶ
 ◎**納涼図屏風** 久隅守景筆
 江戸時代・17世紀
 400年前の家族の情景を淡く優しく描いています



8/5 火 9/15 月祝
 しゅうしやうがゆうずかん
 ◎**瀟湘臥遊図巻**(部分) 李氏筆 中国 南宋時代・12世紀
 特別展(本誌4ページ参照)とも関係の深い作品。宋代の水墨山水画の名品です

3 -1 仏教の美術 — 平安～室町

9/2 火 10/13 月祝

引き続き、特別展(本誌4ページ参照)に関連して、中国美術の影響がみられる作品などを展示します。



そんかいとかいにつまひやうぶ
 ◎**尊海渡海日記屏風** 尊海筆
 室町時代・天文8年(1539) 広島・大願寺蔵
 中国風の整然として堂々とした筆跡が印象的。屏風は朝鮮時代の形式をよく残しています

7/23 水 8/31 日

特別展(本誌4ページ参照)に関連して、中国美術の影響がみられる作品などを展示します。

ぶつねはんず
 ◎**仏涅槃図** 鎌倉時代・14世紀
 涅槃場面背後の水景に描かれた遊魚は、江南地方の藻魚図を彷彿とさせます



術の流れ 戸まで、どる日本美術史



1 -1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

12/7 日



つぼがたどき
 ◎**壺形土器**
 縄文時代(後期)・前2000～前1000年
 青森県五戸町倉石中市日向出土
 大ぶりの渦巻文を描き、赤く塗られた埋葬用の大形壺です



こんどうそうりゆうどうめ まひつつきかぶと
 ◎**金銅装銀留眉庇付青**
 古墳時代・5世紀
 福井県永平寺町松岡吉野塚
 二本松山古墳出土
 輝く金銅がさわだつ、日本海沿岸の有力豪族がかぶった青

1 -2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

7/23 水 8/31 日

菩薩立像

ほきつりやうぞう
 ◎**菩薩立像**
 飛鳥時代・7世紀
 クスノキの一枚から彫った飛鳥時代前期の数少ない作例で、金銅仏を模したと思われます



しぶんかいほんならにじよ
 ◎**四分戒本并序**(部分)
 奈良時代・神護景雲2年(768)
 堀達氏寄贈

かつて道鏡を重用した称徳天皇の発願経で、肉太でやや大粒の字体に特徴があります



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

8/5 火 — 9/15 月・祝

○山水図屏風(部分)

呉春筆 江戸時代・18世紀 吉川貞氏寄贈
明るく広がる山水に脱俗の人が添えられています



5

6

9/2 火

11/24 月・休

◎太刀 銘 助真 鎌倉時代・13世紀

紀州徳川家に伝来した太刀で、豪華な打刀の外装も同時に展示します

武士の装い

— 平安～江戸

沃懸地葵紋時絵螺鈿打刀

江戸時代・19世紀



8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

9/2 火 — 11/24 月・休

色絵紅葉賀図茶碗

仁清
江戸時代・17世紀
山本富士氏・
山本賢二氏寄贈
源氏物語「紅葉賀」帖
を表現した図柄は、
いかにも御室薫らし
い王朝趣味です



8/24 日



蛇籠千鳥時絵硯箱
江戸時代・18世紀
広田松繁氏寄贈
流水と蛇籠をクローズ
アップした図案は、
当世人気の光琳風

8/31 日

柳樹鶯柄鏡

江戸時代・18世紀
徳川頼貞氏寄贈
風そよぐ柳の下、水辺に
憩う鶯が涼しげです



8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

8/3 日



○山中結廬図

浦上玉堂筆
江戸時代・寛政4年(1792)
江戸時代後期を代表する
文人画家・玉堂のみずみず
しい山水図



一行書

江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
江戸時代前期の、大徳寺を復興した江戸が
宋代の禅僧の語を書いたもの

能と歌舞伎

9

8/3 日

能「加茂」をテーマに江戸時代の
能面・能装束などを展示します。

唐織 紅地龍目牡丹桜尾長鳥模様

江戸時代・18世紀

若い女性役に着用される唐織は能装
束の華といえます



8/5 火 — 9/28 日

狂言面や装束のデザインの中
に見る喜劇的な特色を紹介します。

肩衣 黒麻地波兔牡丹唐草州浜雀模様

江戸時代・19世紀

ずんぐりむっくりの兔が波のごとく跳ねる
「波に兔」模様



【衣装】 — 8/3 日

夏季に着用する帷子や単衣、
ガラス製の櫛・簪などを展示します。

帷子 浅葱麻地山水樓閣源氏香文字散模様

江戸時代・18世紀

絹のように細い麻糸で織られた涼しげな上布の
帷子です



8/5 火 — 9/28 日

茶屋染と称される涼しげな藍染の帷子を集めます。

帷子 白麻地葵夜網模様 江戸時代・18世紀

上質な麻地に藍で詩情豊かな風景を染めています



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

8/5 火 — 8/31 日

シリーズものの浮世絵に夏
の風俗を題材とした作品と
団扇絵を加えた、夏らしい
展示です。

○蚊帳の内外

喜多川歌麿筆

江戸時代・18世紀

蚊帳越しに互いを見る逢
瀬。夏の夜の若い男女の物
語です



9/2 火 — 9/28 日

喜多川歌麿の版画と肉筆
作品を一堂に展示します。

◎娘日時計・申ノ刻

喜多川歌麿筆

江戸時代・18世紀

夏の日の娘を、時間を
追って描いたシリーズ。
顔に輪郭線がないのに
気づきましたか？



出口

特別2室

1F

1F

本館 8-2 室
書画の展開
— 安土桃山・江戸

本館 9 室
能と歌舞伎

本館 10 室
浮世絵と衣装
— 江戸

本館 7 室
屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

本館 6 室
武士の装い
— 平安～江戸

ラウ

総合文化展 | 見どころ案内

本館 2 階

[8月09月]

日本美

縄文から江
ほんものでた

必見

東洋館

アジアを旅する

東洋館 5室
「中国の陶磁」

蒐集家の審美眼にふれる

「横河コレクション」中国青磁のすべて

「横河コレクション」日本人が愛した万暦・天啓赤絵

10月13日(月・祝)

建築家であり、東洋陶磁の蒐集家としても知られる横河民輔(1864～1945)の生誕150年にあたる本年、3期にわたってそのコレクションを選び出すて展示します。

1期目の今回は「中国青磁のすべて」、「日本人が愛した万暦・天啓赤絵」の2つのテーマで名品を展覧しています。これは日本人が永い歴史のなかで培ってきた、中国陶磁を鑑る眼が選び抜いた珠玉の作品といえます。

現在、平成館にて開催中の特別展(本誌4ページ参照)に出品されている陶磁器、つまり清の皇帝コレクシオンと合わせてご覧いただくことで、中国陶磁の粋をより深く味わっていただけることでしょう。

(三笠景子)



五彩龍文花生
中国・景德鎮窯
「大明万暦年製」銘
明時代・万暦年間
(1573～1620)
横河民輔氏寄贈
万暦官窯の華やかな作品は、昭和初期に鑑賞陶器として人気を博しました



五彩羅漢図反鉢
中国・景德鎮窯 明時代・17世紀
横河民輔氏寄贈
天啓赤絵のなかには、日本からの注文と思われる形・種類のものもみられます



青磁唐草文水注
中国・耀州窯 北宋時代・11世紀
伝朝鮮出土 横河民輔氏寄贈
流麗な彫文様の美しい北宋の耀州窯の代表作

2期
10月15日(水)～12月7日(日)

「横河コレクション」宋・元のやきもの

3期

2015年1月2日(金)～3月29日(日)

「横河コレクション」「麴香譜」の世界より

東洋館 8室
「中国の絵画・書跡」

後世に影響を与えた斬新な表現

趙之謙の書画と北魏の書

悲盞没後130年

7月29日(火)～9月28日(日)



富貴図軸
趙之謙筆
清時代・同治11年(1872)
林宗毅氏寄贈
展示期間:7月29日(火)～8月24日(日)
高級官僚を断念した44歳の作。この年、趙之謙は地方官として江西に赴きます

清時代の中期、青銅器や石碑など古来の文字資料が一躍脚光を浴びる中で、石碑などを学んで新しい書風を創出した人々を碑学派といいます。趙之謙(1829～1884)ははじめ伝統的な書を学びますが、のちに北魏時代の書に触発され、北魏書とよばれる独特の表現を確立し、碑学派は全盛期を迎えます。

趙之謙の没後130年にちなみ、国内に現存する趙之謙の書画篆刻を、趙之謙が学んだ北魏の拓本などと共に展示し、趙之謙の魅力を紹介します。台東区立書道博物館との連携企画第12弾です。(富田淳)

東洋館 13室
「アジアの染織」

個性に富んださまざまな織物

インドネシアの染織

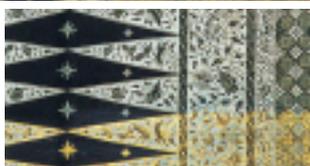
9月7日(日)

数多くの島々からなり、独自の文化を育んできたインドネシア。それぞれの島で発展した刺繍や染物、織物でできた衣類や敷物には、色や文様、技法などに、地域色があふれています。蠟の流し描きをしたり、蠟を型押しした後で染めたりして繊細な文様を表わした「パティック」(儀式やお祝いの場を飾る浮紋織や縫取織、紺糸で文様を表わした「イカット」など、19世紀から20世紀にかけて制作された、島の特色あふれる染織の数々を、名品を中心に展示します。

(小山弓弦葉)



サロン(腰衣)
紺地幾何文様印金
パティック
インドネシア・ジャワ島 19世紀
婚礼用に金で装飾された「巻きスカート」



(部分)

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

特集で遊ぶ

●平成館 企画展示室

ひたむきな信仰のかたち

特集

「キリシタン関係遺品」

8月26日(火)～10月5日(日)

日本のキリスト教信仰は、天文18年(1549)イエズス会宣教師ザビエルの渡来に始まり、西日本を中心に浸透し、最盛期には40万人の信徒を得ました。豊臣秀吉、次いで江戸幕府はその信仰を禁じましたが、九州の一部に潜伏した信徒は厳しい監視を乗り越えて信仰を守り続けました。

本展示では、主に長崎奉行所が信徒から押収した遺品を通して、禁制以前のイエズス会を中心とした布教の状況、禁制下の信仰の一面をご覧いただけます。イエズス会

●法隆寺宝物館 第6室

古代の鮮やかな色彩に驚く!

特集

「甦った飛鳥・奈良染織の美

―初公開の法隆寺裂―

8月19日(火)～9月15日(月・祝)

東京国立博物館では、ガラス挟み(小品)で見栄えのする作品は、ガラスに挟んで保管されてきました)になつている法隆寺伝来の染織品修理を、平成22年度から継続して行ってきました。今回はそのうち、平成24・25年度に修理が完了した作品のお披露目をします。



淡茶地白虎文描絵綾天蓋垂飾
飛鳥時代・7世紀
鮮やかさに驚かされる飛鳥の
絵画作品

これまで作品が収められていたガラスには青みがあり、裂の汚れも手伝つて本来の色合いが損なわれて見えていましたが、修理により鮮やかな色彩が甦りました。絹に描かれた絵画として我が国最古級と目される淡茶地白虎文描絵綾天蓋垂飾は圧巻です。この貴重な機会に、多様な上代染織の世界をお楽しみください。
(沢田むつ代、三田覚之)



◎聖母像
(親指のマリア)
イタリア 17世紀
長崎奉行所旧蔵品
キリスト教禁制下に
イタリア人宣教師
シンドッチが携行
した作品。遺品の中
でも特に美しい
マリア像

と同じように当時宣教を行っていたフランシスコ会、ドミニコ会関連と見られる作品も展示します。
(神辺知加)

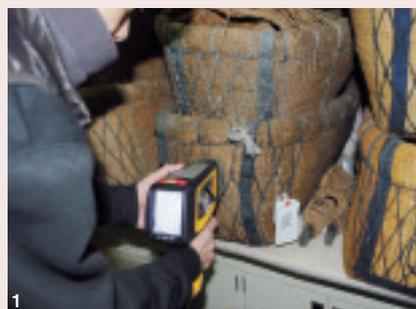
1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

24

被災文化財の修理にむけた調査分析

2011年3月11日の東日本大震災の復興事業として、東京国立博物館では岩手県陸前高田市から「東日本大震災被災資料の保管および抜本的修復作業に関する専門的業務」を受託研究しています。今回はその業務の一端である修理前調査についてご紹介します。通常、文化財の修理前には文化財を構成する材質や付着

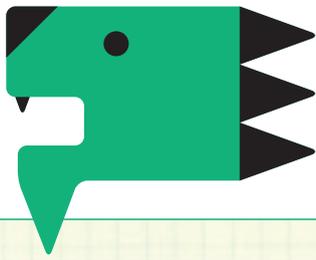


物の、汚れなどの調査分析を行い、そこで得られた多くの情報を元に修理の方針や方法が決まります。被災文化財の修理も同様で、津波によって海水に浸かった文化財の修理にあたっては、同様の手順で調査分析を行っています。これまでの調査分析で、被災文化財の材質や部位によって、汚染の度合いが偏っていることなどがわかりました。現在は、分析結果を元に被災資料と同じ状態のサンプルを作り、様々なクリーニング方法を試して効果の程を分析しています。その結果、効果的なクリーニング方法がいくつかわかってきました。

(荒木臣紀)



1. 被災文化財の蛍光X線分析の様子
2. 被災文化財も、蛍光X線分析装置などを用いて修理前調査を行います



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

PAR
1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「夏休みの宿題—わたしの仏像自由研究—」

日時:8月23日(土) 13:30～15:00 講師:飯島可琳(生駒市子ども学芸員第1号)・浅見龍介(京都国立博物館列品管理室長)
親子のギャラリー「仏像のみかた 鎌倉時代編」にちなんで、親子で参加できる仏像のお話をします。「仏女新聞」を発行している奈良県生駒市の小学生、飯島可琳さんと一緒に、仏像のあれこれを楽しんでみませんか?
*関連展示:本誌6ページ

月例講演会「米内山陶片と米色青磁」特集 日本人が愛した官窯青磁と横河コレクションについて

日時:9月6日(土) 13:30～15:00
講師:佐藤サアラ(常盤山文庫主任学芸員)・三笠景子(保存修復室研究員)
世界で日本にしか伝わっていない「米色青磁」など、国内所蔵の名品を通して、日本独自に進められてきた官窯青磁研究についてふりかえります。

連携講演会「趙之謙の書画と北魏の書」

日時:9月14日(日) 13:30～15:00
講師:鍋島稲子(書道博物館主任研究員)・富田淳(列品管理課長)
科挙落第の苦悶をバネに、北魏の書を作品に昇華させて雄偉な書風を創出した碑学派のスター・趙之謙の魅力を、その生涯とともにお話します。
*関連展示:本誌10ページ

※会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
※開場は開始の30分前(予定より早める場合もあります)。

ギャラリートーク

美しき春日野の風景

日時:8月1日(金) 18:30～19:00 東洋館シアター
講師:土屋貴裕(平常展調整室研究員)
特集「春日権現験記絵模本I」展示作品を中心に、描かれた聖地・春日野の美しい景観をご紹介します。
*関連展示:本誌6ページ

紅型

日時:8月5日(火) 14:00～14:30 東洋館シアター
講師:高木結美(特別展室アシリエトフェロー)
鮮やかな色彩が美しい沖縄の染めもの、紅型。今年リニューアルした本館16室に展示される紅型の衣装についてお話します。



紅型衣装 黄木綿地
菊牡丹雲尾長鳥様
沖縄本島 第二尚氏時代・19世紀
展示期間:～8月17日(日)

「瀟湘臥遊図巻」の物語

日時:8月12日(火) 14:00～14:30 本館2室(国宝室)
講師:塚本磨充(東洋室研究員)
この作品は台北故宮展で展示される蘇軾「行書黃州寒食詩巻」と同じ菊池権堂が持っていました。紫禁城から東京、台北へ、国宝の数奇な流転の歴史をお話します。*関連展示:本誌7ページ



なるほど、
しょうしょう複雑な
歴史があるんだほ
……。

インドネシアの染織

日時:8月19日(火) 14:00～14:30 東洋館13室
講師:小山弓弦葉(教育普及室長)
大小のさまざまな島からなるインドネシア。それぞれの島が持つ地域色豊かなデザインについてお話します。*関連展示:本誌10ページ

趙之謙の書画と北魏の書

日時:8月26日(火) 14:00～14:30 東洋館8室
講師:富田淳(列品管理課長)
趙之謙が拠り所とした北魏の書を通して、趙之謙の書画の魅力に迫ります。
*関連展示:本誌10ページ

甦った飛鳥・奈良染織の美

日時:9月2日(火) 14:00～14:30 法隆寺宝物館第6室
講師:沢田むつ代(客員研究員)
平成24・25年度に修理が完了した法隆寺伝来作品の展示です。絹に描かれた日本最古の絵画作品をはじめ、錦や綾等の色鮮やかな染織品を解説します。
*関連展示:本誌11ページ

法隆寺染織の文様世界

日時:9月5日(金) 18:30～19:00
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師:三田覚之(工芸室研究員)
法隆寺宝物館の特集にあわせ、この度の修理で甦った法隆寺裂の文様世界について解説します。多様な文様にあふれる上代染織の世界をお楽しみください。
*関連展示:本誌11ページ

呉春筆山水図屏風

日時:9月9日(火) 14:00～14:30 本館7室
講師:小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員)
呉春(1752～1811)は蕪村に学び、応挙と親しくして一家風を成し、四条派を開きました。金地に水墨で描き出された山水図の、新奇清潤な画風についてお話しします。*関連展示:本誌9ページ

漆芸にみる東西交流

日時:9月30日(火) 14:00～14:30 本館14室
講師:竹内奈美子(工芸室長)
漆芸という東洋独特の工芸にあらわれた西洋の影響について、東西の文化交流の一端としてご案内します。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク・スライドトーク

「突起装飾環ができるまで—作ってみてわかったこと—」

ギャラリートーク
本館19室で展示している《突起装飾環》を作ってみてはじめてわかった造形的な特徴や技術的な問題について、制作したインターンがご説明します。
日時:8月6日(水)・24日(日)、9月10日(水)・13日(土)・14日(日)、10月19日(日)・25日(土) いずれも15:30～15:50
会場:本館19室 みどりのライオン 体験コーナー(教育普及スペース)
集合:本館1階エントランス
解説者:平成25年度東京藝術大学大学院インターンシップ 調査研究班
8月6日(水)齋藤裕(美術研究科ガラス造形研究室)・渡辺諒子(同漆芸研究室)
8月24日(日)藤枝奈々(同ガラス造形研究室)・岡田麻理恵(同漆芸研究室)
9月10日(水)近岡令(同ガラス造形研究室)・渡辺諒子
9月13日(土)治部亜美香(同ガラス造形研究室)・日暮花里(同漆芸研究室)
9月14日(日)栗田絵莉子(同美術教育研究室)・岡田麻理恵

スライドトーク

制作時に撮影した写真や動画を使いながら、工程見本制作の様子をご紹介します。展示室ではご覧いただけない事前調査や、熟気とスピード感あふれるガラス制作、試行錯誤を重ねた表面装飾制作の現場の様子を通じて、「《突起装飾環》ができるまで」の過程を追体験してみてください。

日時:8月27日(水)15:00～16:00
会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
解説者:治部亜美香、日暮花里、林佳美(美術研究科工芸史研究室)



工程3の巻上げの様子

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ

「趙之謙&北魏の書に挑戦！」

特集「趙之謙の書画と北魏の書 一ひあん 悲盃没後130年」の展示作品の文字を集めてつくったお手本のなかから、自分の好きなものを選んで、色紙や団扇に書いてみよう！できあがった色紙や団扇は、お持ち帰りいただけます。
日時：8月23日(土) ①10:00~11:30、②14:00~15:30
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：小学生とその保護者のペア
定員：各回15組30名(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、保護者は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイト上のフォームでお申込みください。
申込締切 8月5日(火) 必着

ワークショップ

「古文書のかたち」

特集「古文書の世界」(8月5日~8月31日 本館15室)にはさまざまな古文書が展示されます。その古文書に書かれていることも興味深いのですが、今回は古文書の形に注目！
折り方、書き方などを学び、古文書の世界と一緒にのぞいてみませんか？
日時：①8月8日(金) 13:00~14:30 ②8月9日(土) 10:00~11:30
③8月9日(土) 13:00~14:30
対象：①中学生、高校生 ②小学生とその保護者のペア ③一般
定員：①20名 ②10組 ③20名(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、保護者および一般の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイト上のフォームでお申込みください。
申込締切：8月1日(金) 必着

ファミリーワークショップ

「屏風体験！」

かつては部屋の中で実際に使われていた屏風。「どのように屏風を使っていたの?」「展示室ではなく部屋に置いた屏風はどう見えるの?」を、東京国立博物館自慢のお茶室で体験してみましょう！
キャノン株式会社と京都文化協会が推進する「綴プロジェクト」で作られた国宝 松林図屏風などの高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。
日時：9月6日(土) ①10:00~12:00、②14:00~16:00
場所：本館展示室および応挙館
対象：小学生~中学生およびその保護者
定員：各回10組(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です)
主催：東京国立博物館、キャノン株式会社
申込方法 当館ウェブサイト上のフォームでお申込みください。
申込締切 8月20日(水) 必着



展示室とは違う光の中で屏風を鑑賞



あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「ファミリーで勾玉作り」

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。
日時：11月2日(日) 13:30~15:30



オリジナルの勾玉を作りましょう

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：小学校3年生から中学生とその保護者
定員：7組程度(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、保護者は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトの申込みフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(5名まで)の氏名・ふりがなと学年または年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
※1回の入力あるいは1枚のはがきで、5名まで申込可。
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室「11月2日ファミリーで勾玉作り」係
申込締切：10月6日(月) 必着

「ボランティアによる東洋館ツアー」が正式に発足！

「東洋館に入ったことがない」「東洋の美術はよくわからない」という方にも東洋館で展示されている作品を楽しむポイントをわかりやすくお話しします。まずは、1室・3室・11室・12室の各地域の仏像を中心にのご案内します。ボランティアと一緒に東洋の仏像の旅をお楽しみください。
東洋館ツアー：毎月第3日曜日 11:00~11:40
※ご案内する作品は、定期的な展示替えにあわせてかわります。
集合：東洋館1階エントランス

*「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことで。

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代表)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。



一般のご寄附へのお礼

企業や一般の皆様からのお申し出により集まったご寄附は、作品の購入や修理事業に活用させていただいております。

平成25年度にお寄せいただいた寄附金29,270,600円は、国宝「鷹見泉石像」(渡辺筆 江戸時代・天保8年(1837))、上代裂(7世紀後半から8世紀前半に制作された世界最古の染織品)の修理費、および収蔵庫の補修費などに使用させていただきました。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後とも、当館の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金へのお礼

平成25年4月より平成26年3月までの募金総額は644,430円となりました。皆様のご厚志に心より感謝申し上げます。この浄財は、展示場・収蔵庫内の温湿度管理を行うための測定器の購入、および絵画・書跡等の文化財を保存するための台紙の作製などに使用いたしました。

文化財の保存・修理には多額の費用を要します。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



記録された温湿度データを定期的に回収して状態を把握



作品に合わせて1枚ずつ台紙(中性紙製マツト)を製作

資料館よりレファレンス・サービスのご案内

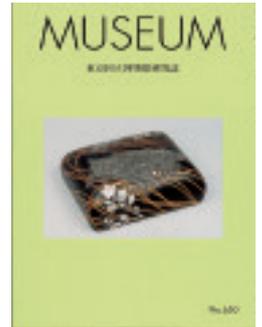
資料館は、博物館のライブラリーとして、所蔵品を中心とした文化財に関する文献や画像情報の蓄積に努めています。これらの情報資料を活用し、利用者の方の調べものや資料・情報探しのお手伝いをするレファレンス・サービスを行っています。内容は、利用案内、検索支援、文献・画像の所蔵調査、

事実調査、文献紹介、類縁機関紹介などです。閲覧カウンターおよび電話、文書等でも質問を受付けていますのでご利用ください。ただし、美術品の鑑定や、調査の代行はいたしておりませんのでご了承ください。



『MUSEUM』650号(2014年6月15日発行)の掲載論文

- ①「狩野山雪の蘭亭曲水図 一再発見された写真資料を手がかりに」多田羅多起子(京都造形芸術大学通信教育部講師)
 - ②「新出の「野分文庫」について 一浅井忠の図案とその作品化をめぐる」和田積希(京都工芸繊維大学美術工芸資料館特任助教)
 - ③「『研究ノート』東京国立博物館所蔵「古賀敦堂遺稿」と森嶋外」田良島哲(当館調査研究課長)
- 定価:1,543円(税込)
お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

平成知新館オープン記念展「京へのいざない」
2014年9月13日(土)～11月16日(日)

〈奈良国立博物館〉

醍醐寺文書聖教7万点 国宝指定記念特別展
「国宝 醍醐寺のすべて 一密教のほとけと聖教」
2014年7月19日(土)～9月15日(月・祝)

〈九州国立博物館〉

特別展「クレーブランド美術館展 一名画でたどる日本の美」
2014年7月8日(火)～8月31日(日)

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 2014年3月28日(金)～12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2014年3月29日(土)～12月7日(日)の土・日曜、祝・休日は18:00まで開館。

休館日:

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2014年12月24日～2015年1月1日)

- ただし、2014年8月11日(月)は開館。8月18日(月)、8月25日(月)は特別展会場のみ開館。

総合文化展観覧料金

一般=620(520)円、大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金。
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

*次号よりご送付希望の場合、締切は2014年9月10日(水)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

発行日から1年間有効

年会費10,300円

※有効期限の1カ月前から有効期限日までの継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本紙の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート

発行日から1年間有効

一般4,100円 29歳以下3,000円 学生2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック

発行日から1年間有効

一般1,500円 29歳以下1,100円 学生900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】

申し込みフォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。

- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証等が届くまで(東京国立博物館ニュースについては購読期間中)保管しておいてください。

- 振替手数料はお客様負担となります。

- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

パスポート・ベーシック

東京国立博物館ニュースの定期購読

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]または[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証または生徒手帳が学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

1 金	夜間開館 (20:00まで) G 「美しき春日野の風景」18:30 東洋館シアター 法 15:00「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1 特別展「台北 国立故宫博物院」 特集「親子のギャラリー」
2 土	時間延長 (18:00まで) 本 14:00「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1
3 日	時間延長 (18:00まで) 作 13:30*2 浮 14:00 考 14:30「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1
4 月	休館日
5 火	G 「紅型」14:00 東洋館シアター
6 水	藝 15:30
7 木	
8 金	夜間開館 (20:00まで) W 「古文書のかたち」13:00 連続講座「国宝」13:00 平成館大講堂*2 英 14:00
9 土	時間延長 (18:00まで) W 「古文書のかたち」10:00、13:00 連続講座「国宝」13:00 平成館大講堂*2 陶 14:30
10 日	時間延長 (18:00まで) 連続講座「国宝」13:00 平成館大講堂*2 近 13:00
11 月	
12 火	G 「『瀟湘臥遊図巻』の物語」14:00 本館2室
13 水	
14 木	本 14:00
15 金	夜間開館 (20:00まで) 「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1
16 土	時間延長 (18:00まで) 本 14:00 法 15:00「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1
17 日	時間延長 (18:00まで) 英 11:00 東 11:00 浮 14:00 考 14:30「伊能忠敬 歩測ワークショップ」*1
18 月	特別開館 (特別展会場のみ)
19 火	G 「インドネシアの染織」14:00 東洋館13室
20 水	
21 木	彫 15:00
22 金	夜間開館 (20:00まで)
23 土	時間延長 (18:00まで) W 「趙之謙&北魏の書に挑戦!」10:00、14:00 講 「夏休みの宿題-わたしの仏像自由研究-」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
24 日	時間延長 (18:00まで) 彫 11:00 浮 14:00 藝 15:30
25 月	特別開館 (特別展会場のみ)
26 火	G 「趙之謙の書画と北魏の書」14:00 東洋館8室
27 水	S 15:00
28 木	本 14:00
29 金	夜間開館 (20:00まで)
30 土	時間延長 (18:00まで)
31 日	時間延長 (18:00まで)

1 月	休館日
2 火	G 「甞った飛鳥・奈良染織の美」14:00 法隆寺宝物館第6室 建 11:00
3 水	
4 木	
5 金	夜間開館 (20:00まで) G 「法隆寺染織の文様世界」18:30 本館地下 法 15:00
6 土	時間延長 (18:00まで) W 「屏風体験!」10:00、14:00 講 「米内山陶片と米色青磁」*特集「日本人が愛した官窯青磁と横河コレクションについて」* 陶 13:30 平成館大講堂 陶 13:30 本 14:00
7 日	時間延長 (18:00まで) 作 13:30*2 考 14:30
8 月	休館日
9 火	G 「呉春筆山水図屏風」14:00 本館7室
10 水	藝 15:30
11 木	本 14:00 庭 14:00
12 金	夜間開館 (20:00まで) 英 14:00
13 土	時間延長 (18:00まで) 陶 14:30 藝 15:30
14 日	時間延長 (18:00まで) 講 「趙之謙の書画と北魏の書」13:30 平成館大講堂 近 13:00 浮 14:00 藝 15:30
15 月・祝	時間延長 (18:00まで) 総合文化展無料観覧日
16 火	休館日
17 水	樹 13:30
18 木	彫 15:00
19 金	
20 土	時間延長 (18:00まで) 特別展「東アジアの華 陶磁名品展」 建 (手話通訳付)11:00 本 14:00 法 15:00
21 日	時間延長 (18:00まで) ♪秋のコンサート 14:30 平成館ラウンジ 英 11:00 東 11:00 茶 12:30 浮 14:00 考 14:30
22 月	休館日
23 火・祝	時間延長 (18:00まで)
24 水	
25 木	本 14:00
26 金	夜間開館 (20:00まで)
27 土	時間延長 (18:00まで) 陶 14:30 講 「東アジアの華 陶磁名品展 記念講演会」13:30 平成館大講堂
28 日	時間延長 (18:00まで) 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
29 月	休館日
30 火	G 「漆芸にみる東西交流」14:00 本館14室 博物館でアジアの旅 (10月13日(月・祝)まで) (11月24日(月・休)まで)

*1=詳細は当館ウェブサイトを確認
*2=事前申込制。申込は締め切りました

- 講** = 月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展に関しては本誌2ページ)
- G** = ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- W** = ワークショップ 事前申込制、詳細は本誌13ページ
- = 託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
- 本** = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 浮** = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 陶** = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 彫** = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 樹** = ボランティアによる樹木ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
- 考** = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
- 法** = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

- 茶** = ボランティアによる応挙館での茶会(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
- 庭** = ボランティアによる庭園茶室ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
- 英** = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
- 近** = ボランティアによる近代的な散歩ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
- 東** = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス
- 作** = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ・アートスタジオ 事前申込制
- 建** = 藝大ギャラリートーク「突起装飾環ができるまで」集合場所:本館1階エントランス
- S** = 藝大スライドトーク「突起装飾環ができるまで」集合場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。